校友会上海支部例会報告

(2017年3月10日実施)



旧正月の間、多くの中国人、外国人ともが里帰りや海外旅行に出かけて上海は静まり返っていましたが、その旧正月も明け、上海はすっかり日常を取り戻しています。

今回の校友会上海支部例会は3月10日（土）、日本人が多く住む古北地区にある陵水酒家という韓国料理店で実施されました。できた飲食店もすぐに閉店してしまうことが多い上海で、既に16年も同じ場所で営業を続けているという、美味しくて価格もリーズナブルなお店でした。

大きな座敷の部屋に老若男女15名が集まり、鍋料理をつつきながらいつもながらの楽しいおしゃべりが続きました。今回は、前支部長の中島一成さん（82年中国語入学）が北京から、最年長でいらっしゃる下村祐一さん（65年西語入学）が広州からそれぞれ駆けつけてくださいました。

今回は上海に3年駐在された三善慶太さん（80年仏語入学）が本帰国されるとのことで、送別会を兼ねた例会となりました。また、これまで校友会上海支部の会計でその他庶務をされてた内濱幸恵さん（87年中国語入学）が監査役に、会計として新たに秋山愛さん（06年日本語入学）が担当してくれることになりました。またこれからはこのHPに掲載する報告を例会に参加したメンバーで持ち回りということになりました。

楽しくアットホームなこの会を皆でそれぞれの役割を分担しながら、今後も細く長く続けていただけるといいなと思いました。



８８年仏語　中西佳代子筆